

# はくとと はくと

Shinkomonji Hospital

新小文字病院

2016.4

Vol.37

ご自由に  
お持ち帰り下さい

病診連携を深めて地域に貢献  
副院長兼呼吸器外科部長 宗 哲哉  
**呼吸器外科ってどんな科?**

平成28年4月  
**入職の新任医師紹介**

## トピックス

- ・カンボジア研修旅行  
仕事と家庭を両立のご褒美
- ・第43回日本集中治療医学会学術集会  
ポスター発表
- ・施設参加型研修・嚥下スクリーニングと  
安全な食事介助のポイント

病院の感染管理の必要性  
**感染管理と認定看護師の仕事**

かかりつけ医紹介①  
**あすなろ内科クリニック**

大里東校区  
**校区の年間行事と史跡**



活躍を誓う  
平成28年度新入職員82名



# 呼吸器外科ってどんな科？

①呼吸器外科とはどういう疾患を対象とする科なのでしょう？

新小文字病院呼吸器センターで扱う疾患は、(1)胸部腫瘍性疾患(肺癌、悪性胸膜中皮腫、転移性肺腫瘍、良性腫瘍など)、(2)呼吸器感染症(膿胸、難治性肺真菌症、肺膿瘍など)、(3)縦隔腫瘍、等があります。さらに当院は救急病院ですので、

(4)胸部外傷(特に気胸・血胸、多発肋骨骨折など)、緊急の処置が必要な疾患も治療しています。当センターでは近年増加が著しい肺癌について、重点的に診療を行っています。医師は現時点で私名ですが、看護師さんや薬剤師さん、リハビリスタッフ、検査技師さん、栄養科スタッフ、医療ソーシャルワーカーさん達と一緒に仕事をしています。

②肺癌に對しどんな治療をしているのでしょうか？

肺癌の治療は手術、全身化学療法(抗癌剤)、および放射線療法が三本柱です。しかし手術である程度、治療の見込める肺癌を除いて治療成績は良くありません。しかしながら近年の分子生物学的手法や遺伝子解析の進歩などにより

様々な分野の研究が進み、肺癌に対する新規治療法が開発されています。当センターでは科学的根拠に基づいて最も有用と思われる治療法を、患者様一人一人に提案し実行しています。当院には残念ながら現時点で放射線治療に対応できておりませんので、放射線治療が必要な場合は当院から適切な病院施設を御紹介いたします。

③呼吸器感染症に對しどんな治療をしているのでしょうか？

通常は内科的治療に抵抗性の疾患(膿胸、難治性肺真菌症、肺膿瘍など)に對し、適応を十分に吟味のうえ、必要な患者さんには手術を行っています。当院でこれまでに肺アスペルギローマや犬糸状虫症など、珍しい感染性疾患も治療してきました。

④縦隔腫瘍に對しどんな治療をしているのでしょうか？

縦隔腫瘍については基本的に診断確定と治療を兼ねた手術をお勧めしています。最終的には腫瘍の占拠部位や大きさ、種類によって判断することになります。最近では胸腔鏡という内視鏡を用いた鏡視下

手術を当院でも行っており、開胸創が小さくなった分、術後に痛みも軽減され入院期間も短縮できています。

⑤胸部外傷に對しどんな治療をしているのでしょうか？

当院の特性上、交通外傷や転落転倒による胸部外傷の患者さんが多く搬入されます。気胸や血胸など緊急の処置が必要な疾患に對し、胸腔ドレナージなど必要な処置を行っています。また他臓器損傷を合併している場合が多く、その場合は各々専門部署と一緒に治療していきます。



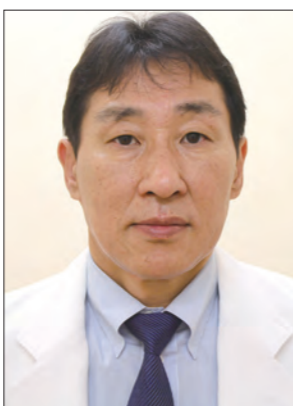
## 医師

①自己紹介 ②抱負 ③趣味・特技 ④好きな言葉



**内分沁・糖尿病内科 部長**  
かわはら てつや  
**河原 哲也** 産業医科大学 卒

- ①福岡県出身
- ②地域の患者様の健康に寄与したい。
- ③ロードバイク・バレーボール
- ④Never give up



**循環器内科 部長**  
こんどう しょういち  
**近藤 承一** 産業医科大学 卒

- ①福岡県出身
- ②1日1文献
- ③B級映画
- ④吾人は経験を尊ぶ



**外科 医長**  
えとう えいいち  
**衛藤 英一** 熊本大学 卒

- ①熊本県出身
- ②地域の皆様に今自分のできうる限り最高の医療を提供します。
- ③ゴルフ、読書
- ④熱意と行動力



**泌尿器科 部長**  
やまうち まさひつみ  
**山内 雅文** 山口大学 卒

- ①福岡県北九州市出身 お酒はなんでも飲みます。特にワインが好き。
- ②患者さんの身になって、結果にこだわっていきたい。
- ③高校・大学とサッカーをやっていて、スポーツが好き。
- ④彼を知り己を知れば百戦危うからず



**外科 医師**  
やましろ なおつぐ  
**山城 直嗣** 熊本大学 卒

- ①沖縄県出身 マイペースな性格です。
- ②新小文字病院外科を盛り上げていきたい。頼られる存在になりたいです。
- ③バレーボール、ゴルフ
- ④一生懸命



**形成外科 医師**  
すずき しょうたろう  
**鈴木 翔太郎** 山口大学 卒

- ①山口県出身 学生時代はラグビー部に所属していました。
- ②早く仕事に慣れるよう頑張ります。
- ③スキューバダイビング、ラグビー観戦
- ④One for all.All for one.

## 研修医



いとう かずま  
**伊藤 一馬** 産業医科大学 卒

- ①福岡県北九州市出身 生粋の地元民です!
- ②何事にも挑戦し、多くを学び吸収できるよう日々頑張りたい。
- ③スポーツ観戦(特に野球)、日帰り(1泊程度の小旅行)
- ④座右の銘は「泰然自若」、そうした生き方ができる人間になりたいです。



にしだ えいじ  
**西田 英志** 三重大学 卒

- ①福岡県出身
- ②1日でも早く皆様に追いつける様に頑張ります。
- ③お酒、紅茶、甘いもの大好きです。ケーキ食べながらアンケート書いてます。
- ④一期一会。大事にしたいです。



ふるや みおこ  
**古谷 未央子** 山口大学 卒

- ①福岡県小倉出身 山口大学卒業です。緊張しがちな性格ですが、意外に大胆に思い切って行動します!どうぞ宜しくお願い致します。
- ②毎日少しずつでも成長できるよう、積極的に研修に取り組んで参ります。病院に必要な存在になりたいです。
- ③弓道参段です。
- ④おもしろきこともなき世を面白く



やまなか たけし  
**山中 健嗣** 長崎大学 卒

- ①広島県出身 興味を持ったものにはとことん情熱を注げるところが長所です。
- ②先輩医師の方々だけでなく、コメディカルの方々からも良い所を学び、総合的に患者さんを診られる医師になりたいです。
- ③麻雀、ゲーム、アイドルのライブ観賞、球技全般
- ④これから出会う未来に、大好きなすべてに「ありがとう」

## 病診連携を深めて地域に貢献

皆様、少しは呼吸器外科について知っていただけでしょうか。

私は産業医科大学医学部を平成9年に卒業し、産業医科大学病院、済生会福岡総合病院、新潟労災病院等に勤務してまいりました。また、産業医科大学大学院では肺癌に対する特異的免疫療法の確立をテーマに基礎研究を行い、平成17年に学位(医学博士)を取得しました。平成20年に日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医を取得後、産業医科大学第2外科助教・内講師を経て、平成22年4月から新小文字病院 呼吸器外科部長として赴任しております。また平成26年には日本呼吸器学会 呼吸器専門医も取得し、内科外科に関わらず、北九州東部での一般的な呼吸器診療をモットーに日夜努力しております。平成27年より当院医療連携室長、平成28年4月からは副院長も兼任しており、地域の先生方や住民の皆様信頼して頂ける病院になることを目指して、これまで以上に努力していく所存です。具体的には、救急を断らないこと、目の前の患者様をしっかり治療してかかりつけの病院があればお戻しすること、なければ自宅近くの医院を検索して逆紹介させて頂くことを進めて参ります。入院の必要がございましたら当院は24時間、365日救急対応をしておりますので、いつでも御相談頂きたいと思っております。私自身、生まれも育ちも北九州市内であり、明治学園小・中学校、小倉高校、(北九州予備校)、産業医科大学と、これまでの人生の大半をこの地で過ごしてきました。これからはこの地にお礼奉公する番と考えております。どうぞ宜しくお願い致します。



副院長兼呼吸器外科部長 宗 哲哉

# 「病院の感染管理と認定看護師の仕事」

新小文字病院 安全感染管理室 主任 小嶋隆広



昨年7月感染管理認定看護師を取得することができました。近年、抗菌薬に耐性を持つ病原体や、エボラ出血熱や新型インフルエンザに代表される新しい感染症、デング熱や結核といった以前問題となっていた感染症が、最近になって再度問題視される感染症として報告が相次いでいます。このような時代背景からも病院における感染管理の必要性がより一層求められており、感染管理認定看護師もその役割を大きく期待されているところなのです。

認定看護分野は2016年1月現在21分野特定されています。その中で感染管理認定看護師は唯一、ケアや看護という言葉が用いられます。管理という言葉が入っています。これは感染管理認定看護師の業務が患者様に直接ケアを行うことではなく、病院全体の医療に関連する感染をコントロールすることか

らびです。

定看護師ですが、その活動の目的は、患者様、病院に求められる面会の方々や各職種の学生さんなどすべての人々、病院で働くすべての人々を医療に関連する感染から守ることです。目的を達成するために感染管理・予防プログラムを立てて活動を行っています。具体的なプログラム内容として7つが上げられますので紹介します。

## ① 感染管理システムの運用、評価、改善

効果的な感染管理活動が行えるよう、感染予防管理システムを運用し、評価します。問題を抽出することで、さらなる改善を実施します。

## ② 医療関連感染サーベイランスの実施

サーベイランスという言葉をはじめ聞く方もいらっしゃると思います。サーベイランスとは自施設の「感染症の流行」と「感染対策がうまくいっているかどうか」を監視し、その結果

を医療現場で働く人々とタイムリーに共有することです。サーベイランスを実施することで、感染対策の向上をはかります。

## ③ 感染防止技術の向上

院内のすべての部署で、感染防止技術に基づいたケアが提供できるよう、感染対策マニュアルを整備し、正しく活用されているか評価し改善します。

## ④ 職業感染管理

病院で働くすべての人が、何らかの感染を受けることを防止します。そのために抗体検査を実施したり、ワクチン接種事業を運営したりします。

## ⑤ 感染管理指導

患者様やそのご家族様に接するすべての人々に、感染管理に必要な行動がとれるよう教育を行います。病院職員だけでなく、委託業者、近隣の施設の方々に対象に教育を行っています。

## ⑥ 感染管理相談

院内、病院内を問わず感染管理に対する相談を受け付けています。具体的にこうしなさいという答えでなく、相談に見えた方の環境にあった方法を一緒に考えます。

## ⑦ 洗浄・消毒・滅菌とファシリテイ・マネジメント

洗浄消毒滅菌は特に重要であり、患者様に使用する医療機器や器具を安全に使用できるよう、その効果の確認まで行います。

ファシリテイ・マネジメントとは患者様の安全な療養環境を確保するため、寝具や水、空気、清掃、医療廃棄物、食事などの運用に係ります。

感染管理認定看護師は前述の通り、患者様に直接に接する事は少ない業務を行っていますので、お会いする機会が少ないと思いますが、病院内で適宜ラウンドを行っていますので、時々皆様の目にとまると思っています。感染に対する質問や相談など適宜お受けしていますので、ご用がありましたら、お気軽に声をおかけください。



## トピックスー 仕事と家庭を両立のご褒美

# カンボジア研修旅行

1月29日福岡空港から6時間のフライトでカンボジアのシエムリアップ国際空港に到着しました。

今回は、病院の研修制度を利用して、池友会グループが医療・人的財政的支援を行っているカンボジアのアンコール小児病院の開院17周年記念式典と同院での研修に同グループの40数人とともに参加しました。

出産後も仕事と家事を両立させ働き続けたご褒美として研修旅行を勧められた時、行きたい気持ちと家族は大丈夫かという二つの思いが頭をよぎりましたが、主人と子供は「お母さん行ってきたら」「5日間くらい何とかなるよ」と快く了解してくれて、これまでの苦勞が報われた思いがしてとても癒されました。

式典後の蒲池理事長主催による懇親会では理事長に親しく接していただき、現地スタッフとは子供たちのことや病院のことを片言の英語で会話し、楽しく時間を過ごせ、今はグローバルな時代だと強く感じました。

研修後には数カ所ほど観光に出かけました。世界文化遺産のアンコールワットはクメール王朝時代のヒン



ズー教寺院です。雄大な茶褐色の建物を見ていますと建設機械がない時代にどうして建築したのだろうかとかカンボジア人の歴史、文化、伝統や知恵に圧倒されるばかりでした。また、トンレサップ湖は東南アジア最大の湖で、そこで水上生活をしながら漁業を営み、たくましく生きているカンボジア人の生活を実感するなどとても貴重な体験をすることができました。

今回の研修旅行では心身のリフレッシュができました。これからも患者さんのための医療に貢献するのが私たちの使命だと考えていますので頑張ります。子育てを終えたスタッフの方もぜひ世界を広げてみませんか。

外来看護師・河野美恵子、島田明子

# 第43回日本集中治療医学会学術集会

リハビリテーション科 作業療法士 主任 河手武

2月11日から14日まで、神戸国際展示場と神戸ポートピアホテルで開催された第43回日本集中治療医学会に参加しました。本学会はICU(集中治療室)の領域に関する医療に携わる職種を対象とした学会です。

シンポジウムでは、ICUにおけるリハビリテーションを推奨しているが、全国的にまだまだ不十分という現状を聴講し、当院は医師がリハビリテーションを早期に処方し、療法士・看護師などの連携が整えられていることの良さを再認識しました。また、ICUにおける医療機器や病態の新たな知見を学ぶことができましたので、今後の安全な臨床に活かしたいと思っています。

本学会から医療的制約があるICUでの認知・身体機能低下に対し、可能な範囲で早期離床、日常生活動作、認知訓練、環境設定などに取り組みましよう、という臨床ガイドラインが出されています。私はそれに準じた「ICUにおける人工呼吸器患者に対し、離床段階に応じて病前の日課を取り入れた作業療法」をポスター発表させていただきました。内容は、



「外科術後の浅い鎮静下の人工呼吸器装着患者さんに、手足の運動や呼吸ケアだけでなく、少しでも普段の生活に近づけるよう車椅子に座り、書字での意志伝達、抑制帯の解除、新聞紙テレビ・窓の外を見る環境設定などに取り組みました。高齢の患者さんでしたが、人工呼吸器離床までの14日間せん妄不安を予防し、退院時は歩行できるまで回復した」というものです。

発表にあたり、同じ外科チームの共同演者として指導いただいた柴田宗征外科部長、新井祐介看護師長と参加し、親睦を深めることができ有意義な機会となりました。

# 大里東校区

毎年12月恒例の昔ながらの石臼と杵でつく餅つき大会が、今年は、大里東市民センターの駐車場で開催されました。蒸されたもち米を、地域の住民とスタッフが一生懸命つきあげ、丸めて、今年もふくらとしたお餅が出来上がりました。

また、今年度から、万の火災等に備えて、消防車と消防隊の方に待機して頂きましたが、これまで子ども達

## もちつき大会



また、今年度から、万の火災等に備えて、消防車と消防隊の方に待機して頂きましたが、これまで子ども達



## 大東フェスタ

昨春秋、大里東小学校の運動場をお借りして行いました大東フェスタが、今年度で10回目を迎えました。当初は夜間に行われていましたが、安全面などを考慮して、今年度は昼間に行っています。そのためお年寄りから子どもまで、幅広い年齢層の参加者で賑わうようになりました。

スケージプログラムも子ども達の参加が多数あつて、皆さんが心待ちにしているイベントのひとつに育ちました。最近では、ものまねや手品、バナナの叩き売り等も出演し、賑やかさが増して、一段と充実したイベントになりました。出店も地域の方たちのご協力を得て、豊富なメニューになっていきます。また、最後に行われる抽選会では、いつ自分が呼ばれるかとドキドキしながら身を乗り出して待っている、子ども達の姿が恒例の光景になりました。

# あすなろ内科クリニック



患者さんを全人的にフォローする

～かかりつけ医紹介①～

## クリニックの特徴・特色を教えてください

小倉北区富野地区に開院して早や12年が過ぎました。この間、一貫してスタッフとともに、可能な限り患者さんに寄り添った診療を心がけてきました。生活習慣病のほか、悪性疾患の診断、感染症治療のほか、専門医として消化器病、肝臓病の診療など内科疾患全般を診ています。院内には消化器内視鏡(上部下部)、エコー、CT機器などを備え精度の高い診断と治療を心がけています。また病院、介護関連機関と連携して、在宅医療も行いながら、地域のかかりつけ医として患者さんの病気、生活をサポートできればと考えています。

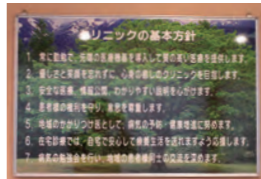


## 新小文字病院との連携について

新小文字病院のホームページで甲斐院長の「健康のことは

## 今後の目標

高齢者人口の増加に伴い、日本の医療・介護の過渡期で、大変革が押し寄せているのを実感する今日この頃です。在宅医療はもちろん介護関連施設、スタッフとの連携は必須です。一方で外来医療についても、病院との機能分化が進んでいるため、かかりつけ医はゲートキーパーとして、患者さんを全人的にフォローする必要があり。生活環境を把握して配慮しながら、



新小文字病院が守ってくれる。だから安心して暮らせる。地域でそう言われる病院を創る」というメッセージに感銘を受けました。まさしく救急医療をはじめ当院の多くのかかりつけの患者さんがお世話になつていますが、現場の先生をはじめスタッフの皆さんが、病院の理念を実践しておられるのがわかり、感謝と信頼の気持ちをもいつも抱いておられます。これからもよろしくお願いたします。

## 趣味や休日の過ごし方について

秋から春にかけて、特に冬に比較的近場の低山に登ることが楽しみです。心地よい汗をかいながら山の高みに立った時、静寂さとキーンと張りつめた空気の中にさらされた時、ふだん疲れた脳とからだの筋肉の緊張が、一気にほどけていく感覚が心地よいです。



院長 医学博士  
こうの しげのぶ  
河野 重行

## 大里東校区周辺の名所 旧跡のみどころ



大里東校区を通り抜ける国道3号線沿いには、大和時代にこの地を治めた旧豪族の墓と言われている黄金塚古墳(東通6丁目バス停近く)や関門海峡側の国道199号線とJR鹿児島線の間に位置する旧長崎街道大里宿の宿場道沿いにはキリシタン取締りの為の踏絵寺だった西生寺のほか大専寺、佛願寺、八坂神社などの寺社や久留米藩船屋敷跡地や御番所跡地のほか猿喰新田を開拓した大里村庄屋石原宗祐の旧宅跡地などを訪ねることができます。

旧大里宿は慶応2年(1866年)の小倉藩と長州藩との戦争の際に焼失したものが多く、寺社などは明治10年代に再建されましたが、その他は石碑がいっくつも残されていて、当時の宿場町をイメージすることができます。



- 黄金塚古墳……………大和時代の古墳から人骨、剣、中国の古銭などが出土。(東通バス停6丁目)
- 西生寺……………江戸時代の企救郡の判行寺というキリシタン取り締まりのための踏絵寺でもある。
- 大専寺……………浄土真宗本願寺派のお寺で小倉と長州戦争の際に焼失。明治11年に再建。
- 佛願寺……………浄土真宗本願寺派のお寺で小倉と長州戦争の際に焼失。明治17年に再建。
- 八坂神社……………1723年小倉藩主小笠原忠雄の建立といわれ、祇園社とも呼ばれている。
- 久留米藩船屋敷……………久留米藩の参勤交代用船の係留港を小倉藩から借用し船屋敷を設置。
- 石原宗助の旧宅跡……………江戸時代の大里村の庄屋で後に猿喰新田、曾根新田を開拓する。



診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:00~13:00	○	—	—	○	—	—
午前 9:00~13:00	—	○	○	—	○	○
午後 15:00~18:30	○	—	○	—	—	—
午後 15:00~19:30	—	○	—	—	○	—

\*日曜と祝日は休診です。早朝・夜間診療あり。往診対応いたします。

あすなろ内科クリニック  
〒802-0023 福岡県北九州市小倉北区下富野5丁目26-28  
TEL 093-521-0035  
FAX 093-521-0099

## 基本方針

### 高度医療

学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

### 総合医療

患者様と医療情報を共有し、急性期治療から早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者様のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。

### 地域医療

地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。

## 患者様の権利と責務

#### 1. 平等な治療を受ける権利があります。

患者様は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されずに、平等な治療を受ける権利を持っています。

#### 2. 治療を自己決定できる権利があります。

患者様は、医師による明確でわかりやすい言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒む権利があります。

#### 3. 情報を知る権利と情報を提供する責務があります。

患者様は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関して知る権利を持っています。患者様は、自身の症状や健康に関する正確な情報を提供し、治療に積極的に参加する責務があります。

#### 4. セカンドオピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利があります。

患者様は、自分の医療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師からの意見・相談を得る権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者様自身の診療に関する全てのプライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。

#### 5. 相談する権利があります。

患者様は、十分な情報を得、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。

#### 6. 良質な医療を速やかに受ける権利があります。

患者様は、効果的医療行為を速やかに行われることを要求する権利、継続的に支持、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。

#### 7. 病院秩序を守る責務があります。

患者様は、全ての患者様が安全で良質な医療を受けられるように配慮して頂くとともに、職員が適切な医療を行うことを妨げないよう協力する責務があります。また、医療費を適正に支払う責務があります。

## トピックスⅡ 施設参加型研修・嚥下スクリーニングと安全な食事介助のポイント

平成27年12月に「嚥下のしくみ、嚥下スクリーニング」、平成28年1月に「安全な食事介助を行うためのポイント」についての研修会をリハビリテーション科言語聴覚士4名で担当させて頂きました。まず、「嚥下のしくみ、嚥下スクリーニング」では19施設36名の方にご参加頂きました。この回では、食べ物をお口に入れてから食道に入るまでの舌や喉の動き方、誤嚥性肺炎はなぜ高齢者に多いのかについてのお話をさせて頂きました。その他にも、嚥下能力（飲み込むための力）を見るためにはどのような方法があるのか、その方法についての実技をグループに分けて行いました。

次に、「安全な食事介助を行うためのポイント」では24施設50名の方にご参加頂きました。この回では、食事をする際の頸部の角度や声かけの大切さ、水と、とりみ水とでは喉を通るときに、どのような違いが出るか、嚥下食を実際に介助しあい、適切な一口

量はどのくらいなのか、味や食感、介助のポイントを皆様に体験して頂きました。

いずれの回も思った以上に多くの方にご参加頂き、嬉しかった反面、ベッドや車椅子を使った食事姿勢などの体験を十分に行って頂くことができませんでした。地域参加型研修会で嚥下についての内容は昨年引き続き2回目でした。研修を通して施設の方々から嚥下障害の方に対して困っていることを知ることができ、さらに実際に話しをしながらその場で解決することができるなどの情報交換の場でもありました。施設の方々から真剣に取り組まれる姿勢は、私たち言語聴覚士にとっても良い刺激になっています。患者様が当院からの退院後も安全、安心な食事が出来るよう、今後も施設の方々と一緒に携わって行きたいと思います。



### 新小文字病院 平成28年度施設参加型研修会開催予定のご案内

実施予定日	研修テーマ	講師
5月19日(木)	安全管理「転倒・転落」について	医療安全感染管理室リスクマネージャー 18時～19時
6月16日(木)	BLS(一次救命処置)2-①	救急外来看護師 18時～19時30分
7月21日(木)	BLS(一次救命処置)2-② (2-①と同一内容)	救急外来看護師 18時～19時30分

(毎月第3木曜日:18時～19時 実践含む研修 18時～19時30分)※時間変更になる場合もあります。

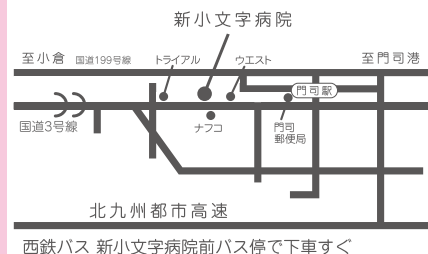
## 診療科目のご案内



内科・消化器内科・循環器内科  
内分泌・糖尿病内科・呼吸器内科  
外科・呼吸器外科・整形外科  
リウマチ科・形成外科・皮膚科  
泌尿器科・放射線科・脳神経外科  
脊椎椎外科・救急科・病理診断科  
リハビリテーション科・麻酔科



### Access map



## 駐車場のご案内

ご来院の際は400台  
収容可能な駐車場をご利用ください。

- 外来者 / 手術付添 / お見舞い (家族・親戚)  
4時間まで100円・以降1時間毎に200円
- 業者・お見舞い (一般)  
1時間まで100円・以降1時間毎に200円

## 新小文字病院を 身近に感じる広報誌

Vol.37

2016年4月15日発行  
企画：社会医療法人財団地友会  
新小文字病院 広報委員会  
〒800-0057  
北九州市門司区大里新町2-5  
TEL：093-391-1001  
FAX：093-391-7001  
E-mail：info@shinkomonji-hp.jp  
http://www.shinkomonji-hp.jp

新小文字病院

検索

Design

NPO法人列島会  
創造館クリエイティブハウス 印刷事業部